

## 私は社会的地位の低い 農業生産者でございます

農業生産者は給料取りのサラリーマン？ 自営業者？ 生活保護者？ 人にはそれぞれの考えがある。農業生産者であっても、人に接する必要があるればサラリーマンだと思いかもしれないし、いや自分が親方なのだから自営業者だという意見もあるに違いない。そしてどこかの誰かの様に収入の3分の2以上が交付金だと生活保護者と変わらないと言われても仕方ないだろう。なぜそんなことを思ったかというところ、「サラリーマンになることはすごいぞー」と3D大画面で迫られる場面に出くわしたからだ。結論から言うとサラリーマンは学力優秀で、一流会社で働いた方が農村社会で働くよりも社会的地位が高いと考えているようだ。

はい、その通りでございます。ヒール宮井は全く異議がございません。だって優秀なサラリーマンさまが一生懸命働き、会社が儲かり、税金を関係機関に収めていただいているので、国家の税収が増え、その予算配分が農水を通じて非効率的な生産者に支払われて、都市でできないことを我々、生産者が理論武装された

農政を実行しているのです。

私は農政のご真ん中を肩で風切って歩く、至ってマトモな生産者だと思っているのですが、もし「宮井さんはサラリーマンにはなれませんよ」なんて言われたら、「あーうれしー♡、またしつかりと褒められてしまった」と感じて完璧に悦の世界に入りこみ、トリップ状態になる……はずだったが、腹が立った。だが、TMS(東京もんサラリーマン)さまから「たかが農家が……」なんて言われてしまい、それが結果的に褒めているのと同じことを言っていると気付くのに随分時間がかかってしまったのだ。

農業はハイテクの塊だなんて、そのTMSさまに言ったら、波風を立てることになるんじゃないだろうか。たとえば、私達が家用車のカーナビの感覚で使う農業用GPSのことをTMSさまに話したら「農業ではどの様にGPSを使うのですか？」と聞かれ、きつと話に幅が出てきて「ジョンディアの初期のGP

## ある国で出会った、 東京もんサラリーマンの話

Vol.31



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月中退後、農業を継ぐ。子供時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。年商約1億円。

Illustration by Kazushige Akita

Sは日本、中国周辺地域では使えません。だってジョンディアは中国人からはGPSの受信料は取れませんからね」なんてことを言ったら、脳内物質が化学反応を起こして、カッチーン系のアドレナリンが生成されてしまい、頭がとてもよろしくていらっしやるTMSさまからは「それ、おかしいでしょう宮井さん？ 中国人差別は良くないです

オレにも  
言わせる!

北海道長沼発  
ヒール宮井の憎まれ口通信

よ!」なんて言われるかもしれませ  
んね。やはりこの様な場合は中国人  
ではなく中国と表現すべきなのでは  
なかろうか。

つまりTMSさまのような優秀な  
方達は人種に関係なく、仕事ができ  
ればどの国のナニ人かは問わない、  
あくまでもその人の仕事の能力です  
べてが決まるというのだろう。それ  
はそれで間違いない事実であるが、  
農業を語る場合、国と同じくらい、  
どこの誰が(どの国の人間)が農作  
物を栽培、収穫したのかは、メイド・  
バイ・ジャパニーズにかかわる重  
要なことであり、読者のみなさんも  
そうご理解しているはずだ。

ちなみに先ほどの話だが、国際問  
題に発展してはマズイので、ジョン  
ディア日本代理店に確認したところ、  
やはり「日本対策ではなく中国  
対策と思われる」との回答を得たが、  
このことをTMSさまに説明したと  
ころで人種差別問題が解決するわけ  
ではないので、そっとしておきまし  
よう。

それからこんな人もTMSさまに  
は嫌われるようです。つまり、最近  
髪が白くなってきた農家のおやじが  
4カ国語はできないが、3カ国語を  
流暢に操ること、飛行機のシートの  
形状やサーピスがみんなと違うこと  
と。子供達の数学の出来が平均的オ

ーストラリア人よりも良いことなど  
も面白くないかもしれませんね。  
おっと、イジメは良くありません  
ね。私もTMSさまに素直に謝罪し  
よう。面白いネタを提供していただ  
き、ありがとうございます。それに  
しても、もっと早く私の自負心が研  
ぎ澄まされていたら世の中もつと変  
わっていたと思うこの頃である。

## 分かり合う必要はないの ではないのか

よくある話だが、東京のサラリー  
マンの中には農業に関する仕事を経  
験しながら、農業そのものには興味  
がないと思わせられることがある。

つまり、生産者が集まり、コメが  
どうだ、転作がどうだ、と言った話  
にほとんど反応しないが、唯一、大  
反応を示すが交付金の額だったりす  
る。この様な場合、私は正直に**取  
入の3分の2以上**がそれに当て  
はまること、ただしひとつの交付金  
ではなく、積み重なった金額であり、  
面積にほぼ比例して支払われる国家  
が認めた予算配分であり、このこと  
は地元、長沼の認定転作者であれば  
同条件であることを伝える。ここま  
で話せばTMSさまでなくても、転  
作がらみの金が動かない本州の野菜  
生産者、十勝や網走地方の畑作生産  
者から反発を食らうだろう。とはい

え、私の農場の交付金の額が全国ト  
ップ5に入ったからといって、私に  
ケンカを売っても何の解決にはなら  
ない。まっ、日本農業を旧ソ連農業  
の様にすべきだというなら話は別だ  
が。

ではTMSさまを含む普通のサラ  
リーマンが農業に興味を持ち、正し  
く理解する必要があるのか? 私は  
ないと思う。なぜなら人々の社会に  
対する役割は別々であつてもお互い  
にプロであり、国が豊かになればい  
ろいろな産業・職種が存在するのは当  
然のことであり、お互いに知らない  
うちに関係を持ち、結果、豊かな国  
はサラリーマンだけではなく農業や  
農業生産者が豊かになることは誰で  
も知っている。そのような賛否ある  
農業に対する国民のご意見を調整し  
ているのが、心の拠り所である農林  
水産省なのだ。

また、こう考えることができる。  
編集長がよく言う「農民は被害者意  
識が強いから国にタカるのだ」とい  
うフレーズ。一流大学を出て一流企  
業で働くサラリーマンから見ると、  
農業生産者は「生活保護者」と言わ  
れる。たしかに自分の学力・能力で  
上り詰められた方達から見れば、田  
舎に住む生産者はタカリ集団のよう  
な偏見の対象になるのかしれない  
が、国内資産たっぷり、国際的に

信頼の高い¥を持つ日本政府のお  
かげで、そのオコボレ、いや予算配  
分をいただける農水さまには、やは  
り感謝の気持ちでいっぱいである。

優秀な生産者の多くは広く浅く物  
事について知っている。当たらない  
気象学、リン酸過剰な土壌学、肝硬  
変に挑戦する医学知識、海外に出て  
も、ひじをテーブルにしてスープレ  
音を出して食べる勇敢な**日本男児  
魂**、極めつけはパチンコなどのギ  
ャンブルを投資と同じと考える経済  
学などをマスターする我々生産者は  
なんとも美しいのだと最近感じるよ  
うになった。皮肉? ヒガミ? い  
やそんなことはない。

例えると試合終了後、すべてチャ  
ラにするノーサイドの精神のラグビ  
ーとは違い、生産者・流通・加工・  
消費者がたとえ分かり合えなくて  
も、喜びだけは一緒に分かち合うウ  
イン・ウインのノーサイド(農制度)  
が必要である。ちなみに私は農業者  
が一般的に加入する国民健康保険で  
はなくサラリーマンが加入する社会  
保険加入者である。この話はこの  
話でしょうか? 関係者もいるかも  
しれないので某所・匿名ということ  
にしましょう。そして**来月も**ウク  
ライナからの裏レポートをお楽しみ  
に♡